

田尻だより

平成 20 年

10月号

Vol. 67

次回の田尻便りは
11月1日発行予定!



おやく稲穂が色づいてきたので、子供たちと一緒に稲穂取りに行きました。

新米と一緒にお届けするプレゼント用の稲穂です。

錦秋の候 晴れの日をねらって、田尻では

いつせいに稲刈りが始まりました。小野寺家ははや遅く、十月三日頃から刈り始めます。

周囲では新米が出回り始め、落ち着かない心地ではありますが、おいしいお米まであと少し!と、はやる心を抑えています。

「一過性の重大事件」先月発生した事故米

のニュースは、月末にはもう下火になっていきます。深く根ざした農業に対するタブー視と報道の沈静化で、状況は悪化していません。

MAは輸入の機会を提供するということ、輸入義務はないこと、MA米の大半はアメリカの米であること、日本の減反は4割まで達している、国産小麦の農家売渡価格は大暴落

していること…。

それらに触れられぬまま、MAは国内農業を守るためだと言われ、憤慨する農家たち。我われは何を食べればいいのかと叫ぶ消費者達。

すぐ隣に味方がいるのに、「何か」を通して見るから溝ばかりが深まってしまふ。農家消費者の敵対像を作り、得をするのは誰なのか。

私達は、もつと賢く建設的な議論をしなくては

いけないはず。真剣に取り組んでくれるのですが、生き物を見つけないと夢中にすぼってしまふ…



はなかなか集まらぬのが玉にキズです。

米 曆 ~こめごよみ~

- 9月1日~ あぜの草刈りをしました
- 9月20日~ 各農家の収穫の巡回確認を行っています
- 9月29日 第1回目の米検査をしました

当初は豊作と見られた今年の米ですが、8月末の集中豪雨と長雨の影響で青米が多く、収穫量もあまり伸びていないようです。

嫁日記

稲刈りが始まりました。私の苦手な季節です。…というのも、私が鼻炎もちだからなのですが。。

稲刈り・脱穀・乾燥・粳すりを経て、稲は玄米になります。この工程で出てくるのが、ものすごい粉塵。この時期の稲作地帯は、まるで

黄砂のように粉塵が舞い、私などは大量に出る洗濯物(作業着!)からも被害を受けてしまいます。なぜなら、粉塵の量も汚れ物の量も、尋常じゃないんです!!!

そんな訳で、この時期は肌着や赤ちゃん服は部屋干しです。何だかなあ~と思いつつながらコインランドリーに走る日だってあったりね…。